

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	交流政策課	職	課長	氏名	宗田 好雄
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H26)	20,985 (H23)	(H24)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	1 3大都市圏からの入り込み状況	千人	10,000 (H26)	6,969 (H23)	(H24)	1 石川県観光創造会議開催費	観光客全般	1,500			
							2 いしかわ観光特使ネットワーク事業費	観光客全般	5,500			
							3 いしかわ型ニューツーリズム推進事業費	観光客全般	3,000			
	課題2 新ほっと石川観光プランの推進 (海外誘客10倍増構想の推進)	外国人宿泊客数	人	500,000 (H26)	106,933 (H23)	(H24)	海外誘客促進事業費	外国人観光客	47,740			

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	石川県観光創造会議開催費	<b>事業開始年度</b>	H17	<b>事業終了予定年度</b>		<b>作 組 織</b>	交流政策課
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	新ほっと石川観光プラン	<b>成 職・氏名</b>	専門員 巽 陽一	<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1127 内線 3918

**事業の背景・目的**

観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」の推進にあたって、高い識見をお持ちの各界各層の方々から新しい時代の観光振興政策に対する大所高所からのご提案をいただく「石川県観光創造会議」を開催し、その提案を活かした新しい時代にふさわしい観光振興策を展開する。

**事業の概要**

I 石川県観光創造会議

1. 会議の構成
  - (1) 委員数 20人
  - (2) 構 成 各分野の第一人者（交通、国際、観光、芸術・文化、食、海外誘客など）
  - (3) その他 委員のほか、特別顧問（石川県観光大使）として、仲代達矢氏など10名が就任
2. 会議の概要
  - (1) 開催数: 年1回
  - (2) 役 割
    - ①北陸新幹線開通を見据えて、新しい観光のあり方等への提案
      - ・国内外からの入り込み客数の目標達成に向けた誘客方策
      - ・石川の魅力、個性、印象など観光石川のブランド創出に向けた方策
    - ②本県の観光応援団としてのPR的機能を発揮
  - (3) 開催時期: 平成24年秋(予定)
  - (4) 開催場所: 未定

II 観光総合プロデューサーの設置

1. 目 的 観光プランを総合的に推進するため、全体にわたって企画等の指導、助言をするプロデューサーを配置し、プラン推進の原動力の役割を担うこととする。
2. 観光総合プロデューサー 早川 和 良 氏（CMプロデューサー）

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>	
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進						
<b>指標</b>	3大都市圏からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
10,000	6,795	6,999	7,268	6,969			
<b>指標</b>	隣県からの入り込み客数					<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>						
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
3,150	2,419	2,583	2,605	2,607			
事業費							
(単位: 千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
<b>事業費</b>	予算	1,500	2,000	1,750	1,500	1,500	
	決算	1,500	2,000	1,750	1,500		
<b>一般</b>	予算	1,500	2,000	1,750	1,500	1,500	
	決算	1,500	2,000	1,750	1,500		
<b>財源</b>	決算	1,500	2,000	1,750	1,500		
<b>事業費累計</b>	7,095	9,095	10,845	12,345	13,845		
評価							
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>					
事業の有効性							
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性							
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> いしかわ観光特使ネットワーク推進事業費	<b>事業開始年度</b> H19	<b>事業終了予定年度</b>
	<b>根拠法令・計画等</b> 新ほっと石川観光プラン	

<b>作成者</b>	<b>組織</b> 交流政策課
	<b>職・氏名</b> 専門員 土田 ちえ子
	<b>電話番号</b> 076 - 225 - 1127 内線 3917

◎事業の背景・目的  
 北陸新幹線の金沢開業も見据え、首都圏をはじめとした全国へ石川の観光情報を発信するため、本県の魅力をPRしていただける方を、平成22年度に「いしかわ観光特使」として委嘱した。  
 本事業では、全国の特使や県人会等のネットワークを強化・活用し、口コミによる情報発信体制をより強固なものとする事で、本県への誘客を促進する。

◎事業内容  
 (1) 交流会の開催  
 特使による活動報告により特使の活動の活性化を促すとともに、石川県ゆかりの方々との交流を深める場を提供  
 ・開催場所 4か所（首都圏、関西、中京、県内）  
 ・開催形態 県政報告、特使の活動報告、交流会  
 ※首都圏、関西は、特使及び県人会等石川県ゆかりの方々を対象。

(2) 「石川の観光」出張講座事業  
 観光出前講座の開催  
 ・開催場所 首都圏、関西圏、中京圏  
 ・開催形態 県の観光関係者を講師とした観光講座を開催

(3) 研修旅行の実施  
 実際に訪れて体験したことなどをPRに活用いただくため、新たにオープンした県内施設や話題の地等の見学ツアーを実施  
 ・開催地区 金沢、加賀、能登、白山の4カ所(計年4回)  
 ・開催形態 金沢駅(県庁)発着の日帰りツアー(定員40名程度)  
 ※ほっと石川観光倶楽部の旅行と共同開催

(4) PRツールの作成等  
 ・特使名刺 …… 新規特使には200枚/1人 継続特使には120枚/1人  
 ※名刺は40種類あり。3枚ずつで120枚。  
 ・PRグッズ …… 絵葉書、あぶらとり紙、うちわ等を検討

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					<b>評価</b>
<b>課題</b>	新ほっと石川観光プランの推進					
<b>指標</b>	3大都市圏からの入り込み客数				<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値					
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
10,000	6,795	6,999	7,268	6,969		
<b>指標</b>	隣県からの入り込み客数				<b>単位</b>	千人
<b>目標値</b>	現状値					
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
3,150	2,419	2,583	2,605	2,607		
事業費						
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業費	予算	2,000	2,000	7,000	5,500	5,500
	決算	2,000	2,000	7,000	5,500	5,500
一般	予算	2,000	2,000	7,000	5,500	5,500
財源	決算	2,000	2,000	7,000	5,500	5,500
事業費累計	4,000	6,000	13,000	18,500	24,000	
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ型ニューツーリズム推進事業費	事業開始年度	H19	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作成者	組織	交流政策課			
	職・氏名	専門員 巽 陽一			
	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3918			

**<目的>**

近年の旅行者は、単なる物見遊山的な観光から、「本物」、「癒し」、「体験」など、知的満足感を求める傾向にあり、これら旅行者ニーズの多様化により、エコツーリズムや産業観光など、新しい形態の旅行が注目を集めている。多様化する旅行者ニーズに対応するものとして従来から推進してきたツーリズムのほか、旅行者の新しいニーズに対応するため、国の施策や観光創造会議での意見等を踏まえながら、新しい形態のツーリズムの開発に取り組み、「観光立県石川」の多様なツーリズムメニューを開発促進する。

**<事業内容>**

1. ヘルスツーリズムの推進
  - ◆モニターツアーの開催
    - ・研究会会員を中心にモデルプランのモニターツアーを実施  
→プログラムの課題を洗い出し、改善を図り、本格的な商品化に向けた検証を行う。
  - ◆研究会の開催
    - ・先進地事例研究やモニターツアーの検証等によりモデルプランのブラッシュアップを図る。
2. アーキテクチャツーリズムの推進
  - ◆情報発信ツールの整備
    - ・観光施設の建築的魅力的な情報整理及び情報発信ツールの作成（ガイドブック等）
  - ◆モデルプランの追加・充実
    - ・重伝建地区や歴史的建造物群等を巡るモデルプランの追加・充実
3. 新たなツーリズムの創出

施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
10,000	6,795	6,999	7,268	6,969			
指標	隣県からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
3,150	2,419	2,583	2,605	2,607			

事業費						
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業費	予算	500	1,500	2,500	3,000	3,000
	決算	500	1,500	2,500	3,000	
一般	予算	500	1,500	2,500	3,000	3,000
財源	決算	500	1,500	2,500	3,000	
事業費累計		500	2,000	4,500	7,500	10,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客促進事業	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作組織	交流政策課
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成職・氏名	課長補佐 北口 義一

## 事業の背景

平成17年3月に策定した「新ほっと石川観光プラン」の海外誘客3倍増構想(平成26年までに15万人)は、平成19年に既に達成(161,902人)したことから、平成20年9月に海外誘客10倍増構想(新目標値50万人)に上方修正し、今後更なる誘客を目指す。

## 海外誘客10倍増構想(50万人)達成に向けた取り組み

- 1 東日本大震災後の誘客回復(追加対策)
  - ・ 原発事故のアレルギーが強く低迷する欧州からの誘客展開
  - ・ アジアの中でも回復が遅れている韓国からの誘客展開
- 2 本県とのチャンネルを最大限活用した誘客活動の展開
  - ・ 観光特使の紹介により道筋のついた北京からの誘客
  - ・ 中国専門家を活用した誘客促進
- 3 小松定期便を利用したインバウンド需要の拡大
  - ・ エバー航空との連携強化による誘客促進
  - ・ 大韓航空との連携強化による誘客促進
- 4 国毎にターゲットを絞った誘客活動の展開
  - ・ 趣味やレジャーなど、国別の嗜好に応じた戦略的誘客活動
  - ・ 中国をはじめとする教育旅行誘致の強化
  - ・ 個人旅行客の受け入れ拡大に向けた体制づくり
- 5 新たな市場からの誘客促進
  - ・ タイからの誘客促進
- 6 民間活力を生かした誘客活動の拡大
  - ・ 県内観光事業者の裾野を拡大し海外でのPR活動を強化

## 事業概要

(1) 台湾インバウンド事業	6,000千円
(2) 韓国インバウンド事業	6,900千円
(3) 中国インバウンド事業	8,900千円
(4) 欧米豪インバウンド事業	9,200千円
(5) 香港・東南アジアインバウンド事業	6,500千円
(6) 誘客民間活動支援奨励事業	2,000千円
(7) 羽田空港の国際化対応事業	500千円
(8) 外国人受入環境整備事業	1,000千円
(9) 情報発信事業	1,000千円
(10) 広域連携負担金	5,740千円

## 施策・課題の状況

施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価
課題	新ほっと石川観光プランの推進					
指標	石川県内外国人宿泊者数				単位	千人
目標値	現状値					
	平成26年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	500,000	194,012	131,035	169,113	106,933	
事業費						
(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業費	予算	42,600	50,000	56,000	80,281	47,740
	決算	42,590	49,990	56,000	80,281	
一般	予算	42,600	40,000	56,000	80,281	47,740
財源	決算	42,590	39,990	56,000	80,281	
事業費累計		171,238	221,228	277,228	357,509	405,249

## 評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性		(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)
今後の方向性		(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)